

やすらぎ通信

平成 31 年度

春季号

(通巻 54 号)
平成 31 年 4 月発行

■発行

社会福祉法人 以和貴会



特別養護
老人ホーム

聖徳荘

- 特別養護老人ホーム……………TEL.0246-45-2830
 - デイサービスセンター……………TEL.0246-26-8100
 - 居宅介護支援事業所……………TEL.0246-45-2833
- 〒973-8407 福島県いわき市内郷宮町金坂 184-3

ご挨拶

新年度を迎えるにあたり、ご挨拶申し上げます。

やわらかい春風を感じる時期になりました。入所されている皆様、ご家族の皆様、関係者の皆様には、日頃、聖徳荘運営につきまして、温かいご支援、ご指導をいただき、心より御礼を申し上げます。

2001年10月1日の開所以来、18回目の年度を迎えました。

大きな事故もなく、新しい年度を迎えています。職員一人一人についても、キャリアをこなしていくにつれ、たのもしくなり、入所されている皆様との距離感がどんどん近づいている様に思われます。

当法人は「安全、安心」の基本理念のもと、信頼される施設作りを目標に、職員一同今後とも努力をしていきます。

その上で初心を常に忘れず、入所されている方々へ福祉サービス事業者としての責任をもち、サービスの提供をしていきます。

まだまだ力不足な点はあるとは思いますが皆様におかれましては今後とも変わらぬご支援、ご指導をお願いいたします。



理事長 馬目宜博

白寿

2月11日は、季の都の斉藤セツ様のお誕生日でした。今年で白寿(99才)です。季の都職員、入所者様みなでスイーツを食べたり楽しい時間を過ごしお祝いしました。午前中には御家族の方も来荘され、にぎやかでおめでたい1日になりました。来年はいよいよ「百寿」セツ様の元気な百才姿を今から楽しみにしています。



米寿



3月8日、佐藤英子様、米寿を迎えられました。お話し好きで、いつも元気な英子さん、これからもパワフルに、楽しく過ごしてくださいね。

新春はしごのり



1月5日、いわき市消防団5支団3分団の皆様による「はしごのり」が行われました。

高いはしごの上での華麗な技の一つ一つに、ご利用者様からも「すごいね、すてきだね」と大きな拍手が送られておりました。




施設研修会(勉強会)



主任介護員を中心に、研修内容を計画し講師として「身体拘束に関する」施設内研修を行いました。参加した職員も、真剣に講師の話を聴き、グループワークに取り組んでいました。ご利用者の方への処遇・接遇をより良くするため、今後も定期的に勉強会を行いたいと思います。

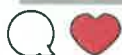


 デイサービス新年会



今年もよろしくお願いします!かんぱ〜い!!!
#カラオケ #書初め大会 #楽しい1日

 豆まき週間



インフルエンザになりたくない〜 邪気は追い払え〜
鬼豆リレー # 福よ来い # 春よ来い

 趣味・グループ活動



生活に密着した「今できること」を維持する目的として取り組んでおります。
園芸、編みもの、縫いもの、夕飯メニュー作り、旅行プランづくりなどなど。
計画～完成までプラン作成もご利用者様との共同作業。
『好きなこと=今できること』→『好きなこと=これからもできること』
心身安定、身体機能維持向上につなげていきましょう!

クリスマス・バレンタイン

山・季・海・花・森・空の各ユニットにおいて、クリスマスやバレンタインのイベントを企画。おいしいケーキや和菓子を食べながら、みんな笑顔です。ご利用者様に、いつもとは違う、楽しいひと時を過ごしていただいております。



宮保育所

宮保育所の園児たちが、元気いっぱい、歌や踊りを披露してくれました。

園児たちとのふれあいに、ご利用者の方たちも、笑顔いっぱい。



湯本高校フラガール

湯本高校のフラダンス部、第8回フラガールズ甲子園で、全国1位になるほどの素晴らしいダンス。ご利用者の方達も一緒に「アロハ〜」



職業体験

- ※「福祉・介護の職場体験」を実施しております。興味がある方は、お気軽にお問合せください。
- ※見学は随時承っております。

ご家族さまへのお願い



ご家族のご面会は、ご利用者様のみなさまにとって、喜びであり楽しみでもあります。いつでもお気軽にご来荘下さるようお願い致します。なお、施設・職員に対するお土産等のお心遣いにつきましては、以前にもお願い致しましたとおり、一切ご辞退申し上げます。

大変失礼かとは存じますが、何卒、趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

苦情解決委員会 責任者(施設長)松本龍哉



編集後記

春を迎え、暖かく過ごしやすい季節となりました。「やすらぎ通信」も、現メンバーでの発行は最後となります。ご利用者様の日常や施設の取り組みを、少しでもお伝えできればと、記事の作成や編集等行ってきました。一年間、ありがとうございました。